ユキノシタ科

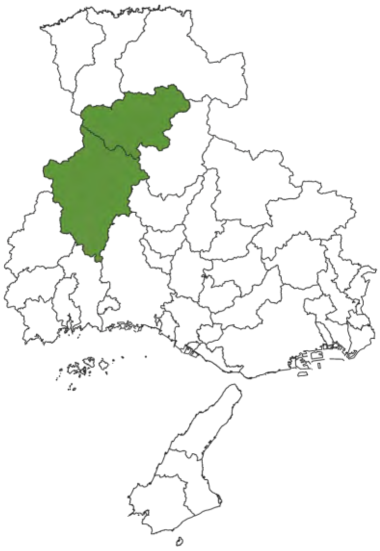
イワネコノメソウ

Chrysosplenium echinus Maxim.

兵庫県ランク… B
環境省ランク… －

■ 県内分布

宍粟市、養父市



■ 国内分布

本州（関東、東海）、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境		特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○

■ 特記事項

県内で確認されているのは数ヶ所であるが、大きな群落もみられる。2020年版で要調査からBランクに変更した。

■ 保護上の留意点

渓谷沿いの樹林の保全が重要である。

写真提供：松岡成久

■ 種の概要

温帯林に被われた沢に沿う陰湿地に生える。根出葉は花時には枯れて残らない。花茎は高さ3-12cmになる。茎葉は(1-)2対が対生し、長柄があり、葉身は扇形または円腎形で、長さ2-8mm、幅3-10mm、基部は切形また広いくさび形で、上縁には3-5対の内曲する鋸歯がある。花後、花茎の基部から地上性の走出枝を生じ、4-5対の花茎の葉より大型の葉を間隔をおいてつけ、先端にはロゼットをつくらない。苞花期は4-5月。花は径3-5mm。萼裂片は花時に平開し、長さ1-1.5mm、三角形から卵形で、鈍頭またはやや鋭頭、緑色で、ときに部分的に暗赤紫色を帯びる。